

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ごえん黒崎			
○保護者評価実施期間	2025年10月1日		～	2025年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36名	(回答者数)	29名
○従業者評価実施期間	2025年10月1日		～	2025年10月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月7日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースが広い	・活動や利用児の状況に応じて利用するスペースを分けています。	・毎日の掃除、アルコール消毒、整理整頓等に努めてはいますが行き届いていないところもあります。 ・清潔で、心地よく過ごせる生活環境となるように努めていきます。
2	個別での療育・支援	・原則、子どもとスタッフ1対1の個別支援としています。(場合によって同時間帯の子ども達で交流を図っています) ・子どもや保護者の意向を取り入れた支援計画を作成し、それを基に、子どもの特性に応じた個別プログラムをスタッフ間で話し合っています。	・症例検討や支援会議にはみんなが発言できる場を設けて、スタッフ間で利用児童の特性や情報の共有、支援を行うにあたってのプログラムの立案などを話し合っています。
3	家族・保護者が見学できる 随時相談に応じることができる	・時には保護者の方にも支援に参加してもらっています。 ・療育・支援場面を近くで見学出来るようにしています。必要に応じて、目的やポイント等を伝えています。 ・困りごと等に対して、随時応じれるよう心掛けています。 ・月1回のモニタリングを保護者と行い、現状の成長したところや課題点の情報の共有を図っています。	・事業所内で研鑽のための専門的な療育の研修を行ったりしています。外部研修に関しても広報を行い自己研鑽が出来る環境を整えています。 ・療育センターとも連携を図り、事業所に訪問してもらっては療育指導をしてもらっています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者送迎	・保護者が送迎できない方や遠方で学校の就業時間が遅い方は利用しづらい。	・電車やバスなどの公共交通機関が使えたり、近所などで歩いて一人でも来れると判断される方は、保護者や本人と話し合いをして、子どものみで来所できるように取り組んでいます。
2	提供時間の枠が基本的に60分～90分で 利用できる時間帯の枠に制限がある	・同時間帯に入れる利用児童の人数に制限がある。 ・長い時間の利用を考えている方には向いていない。	・常に保護者が事業所にいないといけないわけではなく、利用時間を使ってスーパー等への買い物や銀行など外出が出来るようにもしています。
3	イベント企画が少ない	・個別での支援であるため、長期休暇など児童そろってのお出かけなどがほとんどない。	・時折、ポケモンカード大会や避難訓練等、子どもたちがそろって参加するイベントや保護者参加型のイベントの開催を行うようにしています。